

事業所名

児童デイパーチェ

児童発達支援

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

11 月

9 日

法人（事業所）理念	・私達は小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します ・私達は仲間を尊重し、チームワークで職務に臨みます			・私達はどんな時にも明るい笑顔と挨拶を欠かしません ・私達は安心、安全な環境づくりにつとめます ・私達は法令を遵守し、健全で適切な施設運営を行います							
支援方針	「楽しい放課後」をモットーに、居心地の良い雰囲気の中で安心してできる環境を提供し、その中で、大切な幼少期の健やかな成長を手助けします。小学校に就学する前までに身に付けておきたい「身辺自立」を促し、支援します。子どもの性格や、特性、興味のある物を知り、認め関わります。また、保護者の「できるようになって欲しい」の要望に沿って、子どもに合ったアプローチで支援します。不安の中で育児している保護者の悩みに寄り添い、連携機関に繋げる事は勿論、指導員スタッフも家族の一員となり、寄り添い支えていきます。										
営業時間	11 10	時	30 00	分から	17 16	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	「自分で靴を履く」「トイレで下着を自分で上げる」「座って話を聞く」「自分でご飯を食べる」等、生活する上で欠かせない身辺自立を促し支援します。就学前に、しっかりと寄り添い生活スキルを上げ、スムーズな就学に移行できるように丁寧に支援します。食事の面では、「座って食べる」事ができるように支援します。「食」＝「楽しい食事」に繋がるように、食事の際の雰囲気作りを始め、姿勢保持を意識して、取り組みます。また、排泄がスムーズに出来るよう、絵カードや時間を区切り、声掛けを行います。									
	運動・感覚	歩く・止まる・走る・ジャンプ等、基本的な身体の動きを意識した、運動プログラムを行います。音楽リトミックの時間を多く取り入れ「運動」＝「楽しい」を、伝えられるよう意識し、シフオンスカーフや、ヨガボール・マット・一本橋サーキット等の様々な用具も用いて、いろんな身体の部位を使って感覚を養います。近隣のアスレチックや、トランポリン公園などに出向き、自然の中で健やかに身体の成長を促します。粘土・砂場あそび・ビニール袋などの玩具で、「ふれあい伝承遊び」を活動に取り入れ、感覚を養う支援を行います。									
	認知・行動	様々な知育玩具や、人と人との温もりの中で行う「伝承あそび」を取り入れた活動を行い、「色」「形」「大きさ」「数」等の認知を促します。晴れた日は必ず、公園遊びを行い、外での交通ルールを学ぶ機会とします。「車が来たら危ない」「前に、人がいるから待つ」など、細かい社会的なルールを伝えていきます。また、コミュニケーションの難しさから生じる行動の「予防方法」を考え、支援します。									
	言語 コミュニケーション	絵カード・絵本・歌・ふれあい伝承遊び等を変え、楽しみながら発語を促し、繋がるように支援します。発語に繋がる機会となるよう「季節の歌」を歌う機会を毎日設けます。言葉だけではなく、ジェスチャーや絵カード、マカトンで、人とコミュニケーションを取れる喜びとなるようサポートします。玩具の貸し借りの場面など、日常のささいな場面でも、特性から生じる困難の際には、適切なアプローチで、特性に適した支援を行います。スムーズな気持ちの良い対人関係のベース作りとなるよう支援します。									
	人間関係 社会性	玩具の貸し借りや、手洗い場などでの順番待ちや、公園遊びでの順番やルールなどを身につけられるよう支援します。言葉でのコミュニケーションの難しい、お子様には絵カード・マカトン・ジェスチャーを用いて、分かりやすく導きます。集団で発生する、様々な人間関係を、貴重な経験とし、健全な発育・社会性の基盤を養えるよう寄り添います。自分を大切に、お友達も大切に出来るよう、サポートします。									
家族支援	子育ての不安や疑問を気軽に話せる雰囲気作りを、心掛けます。悩みに寄り添い、希望や状況に応じ、事業所や外部の支援機関と共に、相談支援を行います。成長に合った支援が出来る様、家庭と事業所の連携を図ります。			移行支援	日々、成長するお子様に合わせ適切な時期に、適切な支援の場を紹介していきます。就学にむけ学校進路の相談の場を設け、関係機関に繋がります。						
地域支援・地域連携	近隣の商店街の方や、図書館、児童館を始め、様々な公共施設の方と触れ合う機会を設け、豊かな子ども時代を受け、伸び伸び健やかに成長するよう支援します。NPO法人と連携し保護者を交えた交流を行い、開かれた支援をします。			職員の質の向上	保育士を始めとした、経験値の高い指導員による研修を日々、行いスキルの向上に取り組みます。外部の研修に赴き学び、その他の職員に向け研修を行い、質やスキルの隔たりを解消します。						
主な行事等	◆春：消防署見学・ひな祭り・節分まつり・室内運動会 ◆夏：プール・プラネタリウム・映画祭り・工場見学 ◆秋：ハロウィンパレード（商店街）・音楽会（地域のNPO法人） ・電車でGOイベント ◆冬：クリスマス会・初詣・年始の挨拶巡りスタンプラリー ※移動駄菓子屋・防災訓練・消防署見学・体育館あそび等										